

## プレスリリース



### ベルリン日独センターにて大阪・関西万博開幕記念レセプションを開催：万博会場からのライブトークとバーチャルツアー

大阪・関西万博が初日を迎えた 2025 年 4 月 13 日、ドイツ館の公式パートナーである当センターでは、外交・政治・経済・文化など多方面からの来賓を迎え、開幕記念レセプションを開催しました。

本イベントのハイライトとして、現地大阪のドイツ館からライブ中継が実現し、万博の様子が臨場感あふれるトークと共に、レセプション会場の大スクリーンに映し出されました。

レセプションには、志野光子駐ドイツ日本国大使のご臨席を賜り、ご挨拶を頂いた後、日本の視点から大阪・関西万博についてご紹介いただきました。また、司会を務めた当センターのユリア・ミュンヒ事務総長は、1851 年に初めてロンドンで開催された万博の歴史とその背景についてスライドを交えて解説し、「万博は未来を描き、それを実現する場である」と、その意義について語りました。

万博会場からのライブ中継では、ドイツ館のクリストファー・ヘッカー館長と、万博に長年携わってきたアーティストのトーマス・シュリーファース氏がドイツ館のバーチャルツアーの案内人となり、夜にもかかわらず多くの熱心な来場者でにぎわう会場の様子を紹介しました。シュリーファース氏は「ここにいる誰もが、垣根なくオープンに交流している姿は素晴らしい」と初日の印象を語りました。

さらに、ドイツ連邦経済・気候保護省政務次官ミヒャエル・ケルナー氏、同省審議官ドロテア・シュッツ氏 (Dr.)、ドイツ館ゼネラルコミッショナー、パトリック・シュペヒト氏、そしてメラニー・ザクシンガー大阪・神戸ドイツ連邦共和国総領事からもビデオメッセージをお寄せいただいたほか、元駐ドイツ日本国大使である当センターの八木毅総裁も初日の万博会場の映像をお送りくださいました。

これから 6 か月にわたり、大阪・関西万博では約 160 の国・地域・国際機関が、より良い未来社会のための革新的な提案を発信していきます。ドイツでも大阪・関西万博の雰囲気味わいたい方は、ぜひ、当センターへお越しください。トーマス・シュリーファース氏が日独の歴代パビリオン建築をモチーフに描いた作品展「万博対話：日本とドイツ—過去・現在・未来」を 6 月末まで開催しています。

## 【EXPO 2025 大阪・関西について】

2025年4月13日から10月13日までの半年間、「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに大阪にて開催される国際博覧会。1851年のロンドン万博開催以来、世界各地から来場者が集い、対話を通じて人々の視野を広げる場となっています。

## 【ベルリン日独センターについて】

経済、政治、社会、文化の各分野における日独間および国際的な交流を促進し、深めることを課題とする公益財団。1985年創立以来、日本とドイツの政治経済発展に貢献し、本年創立40周年を迎えました。イベントや展覧会の他、人的交流プログラムや日本語講座も実施しています。日独両国の外務省、並びにベルリン州政府から支援を受けています。

ベルリン日独センター (JDZB)

Saargemünder Str. 2, 14195 Berlin

開館時間：月～木曜日 13時～20時、金曜日 13時～15時半。土日祝日閉館。

ウェブサイト：[www.jdzb.de](http://www.jdzb.de)

ソーシャルメディア：<https://linktr.ee/jdzb.social>

取材の問い合わせ先：那須田 栄 (ベルリン日独センター・コミュニケーションチーム)

[pr@jdzb.de](mailto:pr@jdzb.de)

ベルリン、2025年4月